

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

# 畜産協会だより

Vol.39

発行  
一般社団法人 青森県畜産協会

## 新年のご挨拶

一般社団法人青森県畜産協会  
会長 小山田 久

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

令和2年の年頭にあたり、協会員の皆様および関係者の皆様から昨年賜りました協会業務の推進に係わる御支援、御協力に対し、厚くお礼申し上げます。

さて、昨今の畜産を取り巻く情勢を振り返ってみますと、TPP11協定及び日EU経済連携協定（EPA）の発効に続き、本年1月1日には「日米貿易協定」が発効されました。このように農産物の市場開放が一段と進む中で、安い輸入牛肉や豚肉の流入が増え価格競争の激化など打撃が大きいとされるのが畜産業です。

このため、本協会は、これら国際情勢に伴う畜産関係者の不安の払拭に努めるとともに、担い手の高齢化や後継者不足、労働負担の軽減といった課題にも取り組みながら、生産基盤の強化や収益力強化のための畜産クラスター事業（機械導入）、労働負担軽減のための楽酪GO事業など各種事業を適切に行うほか、畜産経営への支援のための経営指導を基本に、家畜防疫・衛生対策事業、幅広い情報提供などに積極的に取り組んでまいります。

また、法律に基づく肉用子牛生産者補給金制度や肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）、肉豚経営安定交付金（豚マルキン）などの経営安定対策も着実に進んでまいります。特に、昨年1月から牛マルキン事業のうち肉専用種については、地域の実態に合った補てん金が算定されるよう青森版地域算定を取り入れていますが、より地域性が加味された算定方式になるよう経営安定に向けた取組を強化することとしています。

結びとなりますが、今年の干支である「子」は、古来から子孫繁栄や財運の象徴とされており、畜産の分野でもこれにあやかる年になることを期待したいと思います。協会員の皆様および関係者の皆様にとって今年1年が実り多いよい年であることをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



## CSF(豚コレラ) 防疫研修会

平成30年9月以降国内発生が継続するCSF（豚コレラ）には野生イノシシが大きく関与していると言われ、また、隣国中国で猛威を振るうASF（アフリカ豚コレラ）は物流や人の交流が増大する中で我が国への侵入リスクが非常に高い状況となっています。これを踏まえ、去る9月6日に十和田市において養豚経営者をはじめ猟友会、県関係機関等約60名の参加者の下、国内のCSF発生状況（県畜産課から）、県内の野生イノシシ目撃情報（県自然保護課から）について情報共有するとともに、宇都宮大学小寺博士による「イノシシの生態から考えるCSF防疫」について研修し、有意義な情報を得ました。



## 2020年 初競り



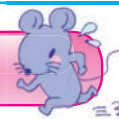
令和2年1月10日、七戸町の青森県家畜市場において初競りが行われました。主催者及び来賓挨拶に続いて、小山田会長の発声により来場者一同がりんごジュースで乾杯し、恒例の下北産のべこ餅での餅まきの後、黒毛和種子牛476頭が競りにかけられました。平均価格は72万円3千円で前月及び前年同月を約3万円下回りましたが、市場関係者は「高値ピークから価格が落ち着き、軌道修正されてきた」と評価していました。この日の最高値は三戸畜産農協の古里弥一さんが出品した雌子牛で189万円9千円。昨年より約25万円の増額となりました。子年にあやかり相場の繁栄を期待したいですね。

## 東通村肉用牛婦人部交流会

令和元年11月19日（火）、むつ市内において、東通村肉用牛婦人部会の皆さんを対象とした交流会を開催し、15名が参加しました。交流会の中で行われたハーバリウム体験では、自分好みの花材を選び、世界に一つだけのオリジナルのボールペンを完成させました。完成後、早速ボールペンを使っている方が多く見られ、また、終了後に記入いただいたアンケートでも、参加された全員が「よかった」と回答されており、仲間同士で絆を深めた交流会となりました。



## 草地難防除雑草駆除研修会



令和元年10月9日、10日と八戸市・東北町において、日本草地畜産種子協会との共催で「草地難防除雑草駆除研修会」を開催しました。本研修会はこれまで北海道で開催していましたが、本州での開催は青森が初めて。このため、全国から約80名の参加者あり、遠くは島根県、沖縄県からの参加者もありました。初日は八戸市で座学中心で行われ、2日目は東北町で雑草駆除対策の実施ほ場を研修場所として北栄トラクター利用組合の村田部長の案内で、全国的に問題になっているハルガヤや、県内で問題化しつつあるブタナなど難防除雑草の駆除抑制について目視で確認しました。参加者からの質問が多く、時間オーバー気味になるほど有意義な研修会となりました。

## 各種制度交付金単価

### 1. 肉用子牛生産者補給金制度

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
保証基準価格		541,000円	498,000円	320,000円	164,000円	274,000円
合理化目標価格		429,000円	395,000円	253,000円	110,000円	216,000円
令和元年度 第3四半期 (10~12月)	平均売買価格	759,900円	630,800円	294,100円	240,300円	419,600円
	交付単価	-	-	25,900円	-	-
	交付額	-	-	計算中	-	-

### 2. 肉用牛肥育経営安定交付金制度 (牛マルキン)

対象区分	肉専用種	交雑種	乳用種	備考
令和元年7月期 (9月交付)	-	-	31,702.1円	
令和元年8月期 (10月交付)	12,369.2円	-	22,905.5円	
令和元年9月期 (11月交付)	2,756.7円	-	28,826.1円	
令和元年10月期 (12月交付)	-	11,271.2円	44,722.4円	(概算払い)
令和元年11月期 (1月交付)	-	-	49,726.4円	(概算払い)

### 3. 肉豚経営安定交付金制度 (豚マルキン)

令和元年度 第1~3四半期(4月~12月)	平均粗収益	平均生産コスト	補てん金単価
	37,595円/頭	33,972円/頭	0円/頭

## 青森県家畜市場成績 (七戸)

### 子牛 市場成績表

【開催日 2年1月10日】

#### 1. 販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分						前 回 分			Kg単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格		Kg単価
黒毛和種	雄											
	去	281	1,333,200	223,300	768,552	300	315	2,440	316	797,319	2,532	-92
	雌	173	1,899,700	335,500	651,868	305	288	2,267	183	680,064	2,388	-121
	【小計】	454	1,899,700	223,300	724,088	302	305	2,378	499	754,318	2,483	-105
日本短角種	雄											
	去	2	278,300	256,300	267,300	292	311	859				
	雌								2	276,100	1,076	
	【小計】	2	278,300	256,300	267,300	292	311	859	2	276,100	1,076	-217
肉専用種	雄											
	去	1	218,900	218,900	218,900	289	338	648				
	雌											
	【小計】	1	218,900	218,900	218,900	289	338	648				
	主											

・黒毛和種の取引頭数は454頭で、前回より去勢35頭減、雌10頭減、全体で45頭減となった。  
 ・黒毛和種の平均価格は724千円で、前回より去勢28千円安、雌28千円安、全体で30千円安となった。

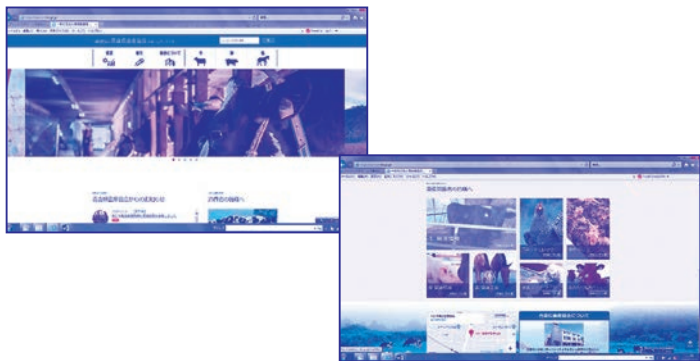
#### 2. 主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花園	57	814,560	318	2,565	296	34	642,918	298	2,157	298	91	750,430	2,419	297	20.0
美津照重	36	785,431	314	2,503	301	23	660,000	281	2,348	301	59	736,534	2,447	301	13.0
美 国 桜	15	798,967	313	2,553	303	7	744,700	312	2,388	318	22	781,700	2,501	308	4.9
幸 紀 雄	12	821,608	301	2,729	302	10	675,180	275	2,453	308	22	755,050	2,609	305	4.9
春待白清	7	682,943	297	2,301	305	8	581,763	271	2,149	306	15	628,980	2,223	305	3.3
諒 太 郎	6	838,750	336	2,498	299	8	676,913	299	2,261	298	14	746,271	2,369	299	3.1
総合計	281	768,552	315	2,440	300	173	651,868	288	2,267	305	454	724,088	2,378	305	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は、「第一花園」で、20.0%、次いで「美津照重」13.0%となった。  
 第一花園の平均価格は750千円で、前回に比べ59千円安となった。単価は2,419円で前回より193円安となった。

## 協会からのお知らせ

### 畜産協会HPを リニューアルしました！



青森県畜産協会では、この度、Webサイトをリニューアルいたしました。以前より使いやすく、見やすくしたつもりです。

畜産に関する情報を随時更新してまいります。

<http://aomori.lin.gr.jp/>

### 青森県養蜂協会 品評会



令和元年10月8日に青森市のラ・プラス青い森で第7回はちみつ品評会の審査会がありました。アカシア、トチ、りんご、その他部門に計72本のはちみつが出品され、厳正な審査の結果藤田勲（弘前市）さんに最優秀賞（青森県知事賞）が授与されました。

本協会は青森県養蜂協会の事務局を務めており、今後とも県産はちみつのPR活動や消費拡大を図っていくこととしています。

## 地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は、地方競馬全国協会までご連絡下さい。地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト/馬主申請Q&Aでご覧いただけます。

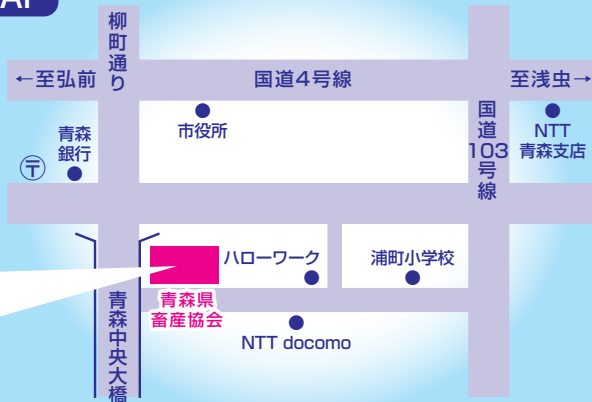
<http://www.keiba.go.jp/>



ビルの上にいる牛が目印です。



### MAP



### 一般社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号(畜産ビル)

総務課 Tel(017)723-2523(代)  
家畜衛生課 Tel(017)722-4331

経営支援課 Tel(017)723-2775  
Tel(017)718-3809

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp> E-mail [info@aomori.lin.gr.jp](mailto:info@aomori.lin.gr.jp)